

サポートソフトウェア

T-PDS

TシリーズPLC全機種共通のプログラミングツールです。プログラム設計からデバッグ・メンテナンスまで、パソコンを利用した快適なプログラミング環境を提供します。

主な特長

- リレーシンボルを貼り絵のように画面上に配置する簡単プログラミング
- スキャン途中のデータを監視できるリアルタイムオンライントレース機能（T1シリーズはスキャン後のデータを表示）
- 強制入出力、サンプリングトレース、ステータスラッチなど、デバッグや試運転に有効な機能を満載
- トラブルシューティングや予防保全に有効なイベント履歴機能
- プログラム変更禁止やプログラム読み出し禁止など、保護レベルを選択可能なパスワード機能
- 複数の設計者による分散プログラム開発を可能にするプログラム結合機能
- イーサネットやTOSLINE-S20を介したリモート接続、公衆回線を利用したモデムダイヤリング接続が可能

T-PDS種別とバージョン一覧表

種別	言語	最新バージョン	対応OS
T-PDS32 for Windows	日本語	2.30	日本語Windows 95/98/Me/NT/2000/XP/7 (32bit)
T-PDS DOS/V	日本語	2.12	日本語MS-DOS 5.0/V, 6.2/V
T-PDS32 for Windows	英語	2.30	Windows 95/98/Me/NT/2000/XP/7(32bit)
T-PDS DOS	英語	2.11	MS-DOS 5.0以上

※ 上記以外に、東芝J-3100用、NEC PC9801用もあります。（旧版）

動作環境

T-PDS32 for Windowsは下記に示す仕様のPC/AT互換パソコン上で動作します。

動作環境一覧表

分類		仕様
CPU	メインプロセッサ	Pentium 150MHz以上 MMX-Pentium 200MHz以上推奨
	オペレーティングシステム	Windows95/98/Me Windows NT4.0/2000/XP/7(32bit)
メモリ	RAM	32MB以上 64MB以上推奨
表示機能	表示装置	カラー／階調ディスプレイ 色数16色以上
	グラフィックス表示	横640×縦480ドット以上 VGA 横800×縦600ドット以上 SVGA推奨
入力装置	キーボード	106キー／84キー（ノート型）
	マウス	1個（2ボタン） PS2又はシリアル
補助記憶	3.5インチFD装置	2HDフロッピーディスク1.44MB
	ハードディスク装置	80MB以上
インタフェース	RS-232C	1チャンネル装備（非同期9600BPS）（※1）
	プリンタ	1チャンネル装備（セントロニクス準拠）
	イーサネット（オプション）	WinSock1.1以上要

- ※1 USB－シリアル変換アダプタでのP L C本体との接続は動作保証しません。
全く動作しない場合や、接続ケーブルを通電中に抜き差しすると、以降動作が不安定になったり、最悪の場合操作不能になることが有ります。
シリアルポートのない機種では、次のP Cカードの使用を推奨します。
『RS232C P Cカード R A T O C R E X - 5 0 5 6 V』

S-LS

データ伝送装置TOSLINE-S20/S20LP用のパラメータ設定・メンテナンスツールです。

主な特長

- S20/S20LPステーションのローダポート（RS232C）にダイレクト接続
- 1つのステーションに接続してネットワーク上の全ステーションのパラメータ設定が可能
- パラメータ設定の他、スキャンデータアクセス、接続状態確認、RAS情報確認など、システムのデバッグやメンテナンスに有効

S-LSの種別とバージョン一覧表

種別	言語	最新バージョン	対応OS
S-LS for Windows	日本語	2.1	日本語Windows 95/98/Me/NT/2000/XP
S-LS DOS/V	日本語	2.1	日本語MS-DOS 5.0/V, 6.2/V
S-LS for Windows	英語	2.1	Windows 95/98/Me/NT/2000/XP
S-LS DOS（※1）	英語	1.1	MS-DOS 5.0以上

※1 S-LS DOS（英語版）はS20専用でS20LPには対応していません。

※2 上記以外に、東芝J-3100用、NEC PC9801用もありますが、いずれもS20LPには対応していません。

動作環境

S-LS for Windowsの推奨動作環境一覧表

Windows 95/98 の場合	CPU : Pentium 100MHz 同等以上 メモリ : 24MB以上 HDD : 20MB以上
Windows NT4.0 の場合	CPU : Pentium 120MHz 同等以上 メモリ : 32MB以上 HDD : 20MB以上
Windows 2000 の場合	CPU : Pentium 150MHz 同等以上 メモリ : 32MB以上 HDD : 20MB以上
Windows Me の場合	CPU : Pentium 200MHz 同等以上 メモリ : 32MB以上 HDD : 20MB以上
Windows XP の場合	CPU : Pentium 300MHz 同等以上 メモリ : 128MB以上 HDD : 1.5GB以上

<補足説明>

- S-LS for Windowsは、日本語版は日本語OS、英語版は英語OSでのみ動作します。英語版は日本語OSで動作しません。
- S-LS for WindowsをNT/2000/XPにインストールする場合はAdministrator特権が必要です。
- S-LS for Windowsを東芝製パソコンにインストールする場合、ソフトウェアモデムが動作する環境では、ソフトウェアモデムを使用禁止にするか、またはCOMポートの割り付けを17以上にしてください。

- USB-シリアル変換アダプタでのステーション本体との接続は動作保証致しません。全く動作しない場合や、接続ケーブルを通電中に抜き差しすると、以降動作が不安定になったり、最悪の場合操作不能になることがあります。

シリアルポートのない機種では、次のPCカードの使用を推奨します。

『RS232C PCカード RATO CREX-5056V』

T-PSV

TシリーズPLCに対応したDDEサーバソフトウェアです。Windowsパソコン上で動作します。TシリーズPLCのデータを設定された周期で収集、DDE通信でExcelなどのWindowsアプリケーションに渡します。WindowsアプリケーションからTシリーズPLCへのデータ書き込みも可能です。パソコンとPLC間は、シリアル（RS232CまたはRS485）またはイーサネットで接続します。

主な特長

- Excel上でPLCのデータを簡単にリアルタイムモニタ。簡易HMIに最適
- VBAマクロによりPLCへのデータ設定も可能
- イーサネット接続（PLC最大64台）、RS485シリアル接続（PLC最大32台）、及びローダポート接続（PLC 1台）をサポート。TOSLINE-S20を介した接続（PLC最大64台）も可能
- データ点数最大4096点（ワード）、PLC 1台あたり最大744点（ワード）
- データ収集周期最短0.2秒

T-PSVの種別とバージョン一覧表

種別	言語	最新バージョン	対応OS
T-PSV	日本語	1.1	日本語Windows 98/Me/NT/2000
T-PSV	英語	1.1	Windows 98/Me/NT/2000

動作環境

T-PSV は下記に示す仕様のPC/AT互換パソコン上で動作します。

動作環境一覧表

分類	仕様	
CPU	メインプロセッサ	Celeron 300MHz以上 Pentium III 500MHz以上推奨
OS	オペレーティングシステム	Windows98/Me/NT4.0/2000
メモリ	RAM	64MB以上 128MB以上推奨
表示機能	表示装置	カラー/階調ディスプレイ 色数16色以上
	グラフィックス表示	横640×縦480ドット以上 横1024×縦768ドット以上推奨
補助記憶	3.5インチFD装置	2HDフロッピーディスク1.44MB
	ハードディスク装置	10MB以上の空き容量
インタフェース	RS-232C	1チャンネル装備（～19200BPS）
	イーサネット	WinSock1.1以上